桜ヶ丘だより

発行
岐阜県立関高等学校
同窓会会長河合定彦

印刷所
ムトウプリント

三五八名が新同窓会員に

本校の卒業生は高女計二九六九名、高校計一〇、七八一名の合計一三、七五〇名であったが、六十年度卒業生三五八名（男一八九名、女一六九名）が加わり、総計一四、一〇八名となった。新会員の入会式は二月二十八日に厳かに行なわれた。

歓迎

同窓会会長
河合定彦

卒業おめでとうございます。六十有余年の伝統と一万四千人の会員を持つ、格式高い関高校同窓会に入会された皆さんを、会員一同心から歓迎します。

過日、然る工業新聞に「生物エンジン」開発の記事が載っていました。生体を構成する蛋白質分を並べて人工細胞を作り、一定の方向に流動する生体分子の「動き」を利用したこのモーターは、電気や石油エネルギーを使わない全く新しい発想から成っている。「生物モーター」は排気ガスや騒音を発生しないし、そのエネルギー効率は生物と同じ九〇パーセント以上にも達するという。

この話に限らず、今あらゆる次元での常識や発想の仕方が根本から見直されているとき、まったく新しい世代の皆さんを会に迎えられることは、大変意義があり楽しみなことです。

皆さんそれぞれが、これだけは世界中で自分一人だけしか出来ないんだというほどの自負を持って、じっくり成長してください。実際、世事にとらわれない若さと才能溢れる君たちですから。

同窓会員名簿の発刊にあたって

このたび昭和六十年度版関高等学校名簿が関係各位の熱意と御協力に依りまして、ようやく発刊の運びとなりました。

ベージュ色に、やわらかいタッチで描かれた校舎がおだやかに表紙を飾り、手によくなじむ冊誌に刷り上って来ました。

一万四千九百二十八名の会員名簿は四百頁あまりにわたり、関高校同窓生の歴史が、ずっしりと重く伝わってくるようで感無量に胸に迫るものがあります。

名簿発刊委員一同、改めて皆様方の御支援に感謝致しますとともに会員各位のますますの御健祥と発展を祈念致します。

まだ、いくらかの余裕がありますので、左記まで、連絡してください。

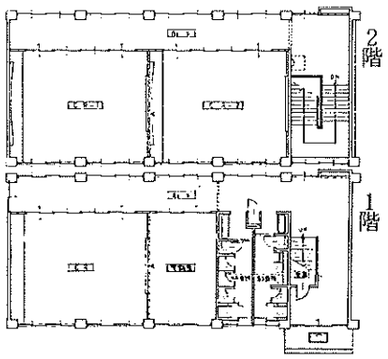
関市桜ヶ丘町一
関高等学校同窓会事務局
☎〈〇五七五〉二一―五六八八
三千七百円（郵送料含む）でお分けします。

校舎増築工事始まる

来年度から九クラスに

本校は、昭和六十一年四月より一学年九学級の規模となり、生徒数が増加するため普通教室が不足します。

このため県教育委員会では、新校舎の建設を進めることになりました。校舎は鉄筋二階建独棟として特別教室棟（北舎）に並して建築され、着工は今年十月、完成予定は来年六月になっています。



建築される新校舎は

一階　普通教室一、資料室一
便所、男女別（便所には身体障害者用を一箇所設置）

二階　普通教室二

なお、新校舎には渡り廊下を本館東階段前出入口に中庭を横切って接続されます。

お知らせ

第十八回生同窓会を左記のように開催します。

・昭和六十一年八月十七日　十二時より
・各務原平安殿

関高校柔道部OB会報告

OB会会計　高井秀雄

関高校柔道部OB会は、発足以来二十余年になります。故鈴木輝雄先生、国光溢夫先生に御指導をあおぎ柔道部OBの親睦、在校生への援助を目的として、OB有志の熱心な努力によって新海武男会長を中心に発足し、当初わずかであった会員数も、現在では三百余名となり、北は北海道札幌から南は九州大分、熊本まで全国に拡がり各方面で活躍しております。

OB会員は、各種大会への参加、在校生合宿、練習への参加、各地区での柔道指導なども行っております。

なお、毎年一月二日各地から集ったOBが、関高校武道館にて行われる初稽古を新たな気持の中で高校現役との試合、我が子との稽古をした後、新年総会を行っており、例年六～七十名の会員の参加があります。

中濃地区の進学校として益々発展を続ける母校でありますが、一方柔道部の活躍は思う様な成果が見られないのが残念ですが、今後、OB会として物心両面にわたり援助していかなければならないと思っております。

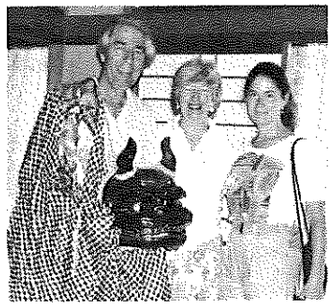
二人目の交換学生 モニクさん帰国

昨年の二月から、第二回目の交換学生として本校で勉学していた、モニク・オウディ・エグベリンクさんが、一年弱の留学生活を終えて、一月十三日に帰国しました。

帰国に先だって、本校体育館に全校生徒を集めて、修了証書が授与されました。

校長先生から終了証書を手渡された後、流ちょうな日本語でお別れのスピーチをおこない、一同に深い感動を与えました。

また、グラウンドの隅に桜の木を記念に植え、短かい期間ではあったが、思い出の多い本校を後にしました。



帰国後は、大学へ入って日本語と経済の勉強をすることにしているそうです。

大学を卒業してからのことは、まだ何も決めてはいないが、ヨーロッパにも渡り、さらにさらに視野を拡げながら研鑽をかさねたいという夢ももっています。

関での一年間の体験をもとに、将来、日本とオーストラリアの友好のために、力を発揮してくれることを期待しています。

昭和60年度進路状況

（厳しい就職状況）

昨年度より二クラス増の今年の卒業生の就職志望者はほぼその割合いで増加しましたが、求人は前年並みで一般企業への就職状況はその分厳しいものになりました。従来、高卒者のものであった職域に近年は短大、専門学校卒の人の進出が顕著で、特に職業的な実務技能を持たない本校生には不利な条件下で、それでも善戦したと思います。

公務員関係は昨年に続き好調で進学との併願者も含みますが国家公務員23名、地方9名が合格しました。二月初旬の時点での就職先が決定している者は男子16名、女子24名で大半が金融、会社、公務等の事務系職種です。

（期待される進学成果の飛躍）

この稿の時点は私大や短大の入が酣なわで本校生諸君の健闘を祈っているところですが、全体の成果は年々着実に向上してはいますものの、いま一段の飛躍が望まれます。国公立大共通一次試験は本校では過去最高の一四五名が受験し全校の平均点は昨年をやゝ上廻わる程度ですが今年は高得点者が増え、東大、京大など最難関校に挑戦する人もかなり多く、岐大、名大を目指す人共々に「文の華」を咲かせることが期待されます。私大、短大も勿論、新聞紙上に公表される後輩の頑張りの成果に熱いご声援をお願いしたいと思います。

新会員のクラス委員一覧

入会式を終えた新会員三五七名のお世話をしていただくクラス委員が次のように決まりました。（敬称略）

三年一組　高井　和彦
　　吉田　忠史
二組　加藤　敬
　　新海　智子
三組　太田　尚文
　　古川　香
四組　川嶋　一朗
　　西部みどり
五組　小林　淳治
　　小林　昌子
六組　石原　浩樹
　　早川　幸恵
七組　長谷部利博
　　日置　孝子
八組　山田　茂樹
　　石原小百合

〇印は第38回生幹事です。よろしくお願いします。

おくやみ

ご冥福をお祈りします。

北野　寿彦先生

昭和六十年十二月二日、逝去されました。昭和三十八年～五十五年関高教諭。その後、教育センター、県教委保健体育課課長補佐などを歴任されました。

高木　登先生

昭和六十一年一月十日、逝去されました。昭和四十三年～四十八年関高教諭。その後、武義高、関商工高、各務原東高を歴任されました。